


分野	62	都市経営	通番 150
施策	624	行政事務	
5年後の目標		多岐にわたる行政事務が適正に執行されており、市民が、必要とする行政サービスを滞りなく享受できている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	NICEシステム総括管理事業		会計	款	項	101,072,783	情報システム課
			一般	2	1		
事業の概要							
住民生活に直結し、個人情報を多く含む基幹業務システムの物理的・技術的・人的セキュリティ管理に努めながら、行政事務システムの安定稼働と効率化を図ります。							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	基幹業務システムにおけるウイルス感染による被害件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	0(平成26年度)	目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹業務システムの物理的セキュリティとして、京都府のデータセンターにおいて、サーバーを設置していますが、令和2年度にサーバー並びに市庁舎内に設置する端末及びプリンターを更新しました。 ・技術的セキュリティとして、毎日バックアップを保存するとともに、常時、ログの監視を実施しています。 ・人的セキュリティとして、令和2年8月から11月まで情報システムを使用している51課を対象に情報セキュリティ監査を実施しました。また、全職員を対象に、「標的型メールテスト」及び「情報セキュリティ、個人情報保護、サイバーセキュリティ」研修を実施し、セキュリティ意識の向上に努めました。 					更新後の端末		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—		—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹業務システムにおいては、物理的・技術的・人的セキュリティ対策を実施し、安定的な稼働を実現しました。 ・ログの記録などからは、不正接続は認められず、また、セキュリティ監査においても法令や条例違反となっている事項はありませんでした。 ・令和2年度においても情報セキュリティ研修を実施することで、職員の意識を向上することができました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・人的ミスを防ぐため、引き続き研修等により職員の情報セキュリティ意識の向上に努める必要があります。 ・また、情報インシデントに対して予防策を講じておくだけでなく、発生した際の軽減策を検討しておく必要があります。 			

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き研修を通して、情報セキュリティの意識の啓発を行います。 ・関連事業者との調整・連携を密に行い、情報資産が適切に管理・運用されるよう努めます。 ・基幹システムと連携している番号連携サーバーや京都デジタル疎水ネットワーク機器の更新が必要なため、スムーズな移行を図ります。